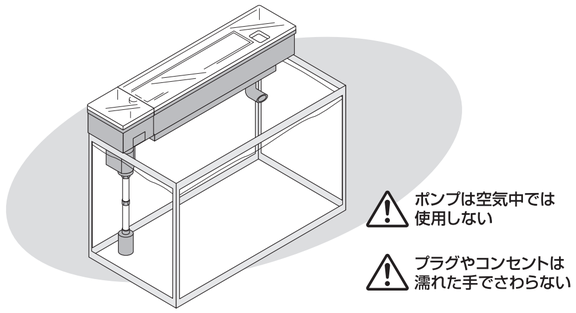
GEX

取扱説明書

観賞魚専用上部モーターフィルター

デュアルクリーン600SP

【60cm水槽用（ブラック）】



取扱説明書本文にでてくる警告・注意事項の部分は、製品をお使いいただく前に注意深く読み、よく理解してご使用ください。この取扱説明書はいつでも取り出せるところに保管してください。

⚠ ポンプは空気中では使用しない

⚠ プラグやコンセントは濡れた手でさわらない

この度は、「デュアルクリーン600SP」をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用になる前に必ずこの説明書を最後までお読みになり、正しい使用方法、注意事項などをご理解の上、ご使用くださるようお願いいたします。お読みになった後は大切に保管してください。

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。その表示と意味は、次のようになっています。

●この表示を無視して、誤った使い方をしたときに生じる内容を、2つに区別しています。

⚠ 警　告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
⚠ 注　意	人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

●本文中の絵表示の意味です。

⃠ は	してはいけない「禁止」の内容です。	⃠ 一般的な禁止	分解禁止
		水ぬれ禁止	ぬれ手禁止
● は	必ず実行していただく「強制」の内容です。	❗ 必ず行う	差し込みプラグを抜く

⚠ 警告（けいこく）（必ず以下の警告事項をお読みになってからご使用ください）

■観賞魚飼育水槽でご使用ください。

◆観賞魚飼育水槽以外での使用や、他の目的では絶対に使用しない。
◇火災、感電、故障の原因になります。

■差し込みプラグ・コンセント・電源コードについて

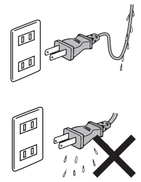
◆セット時、魚の出し入れ、点検、掃除など水中に手を入れる時は、必ず水槽で使用している電気製品全ての差し込みプラグを抜く。
◇感電の原因になります。

◆雷が近い時は、差し込みプラグをコンセントから抜く。
◇火災や故障の原因になります。

◆ぬれた手で差し込みプラグを抜き差ししない。
◇感電の原因になります。

◆たこ足配線はしない。
◆電源コードや差し込みプラグが傷んでいたりコンセントへの差し込みがゆるい時は使用しない。
◆電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない。
◇感電、ショート、火災の原因になります。

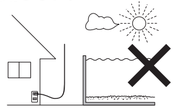
■差し込みプラグ・コンセント・電源コードについて



◆コンセントは、水槽より高い位置にあるようにし、電源コードをつたわって差し込みプラグに水がかからないようにする。やむを得ず水槽より低い位置で使用になる場合は、右図のように必ず水滴だまりを設けて、水滴がコンセントに流れこまないようにする。
◆差し込みプラグ、コンセントは、使用中はもちろん、いかなる場合も濡らさない。
◇感電、漏電、発火の原因になります。

◆差し込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。
◆コンセントや差し込みプラグの刃および刃の取り付け面は定期的に汚れやほこりをふき取る。
◆海水水槽で使用になる場合は、差し込みプラグやコンセントの塩分や汚れをこまめに点検し、付着している場合は、必ずよくふき取る。
◇感電、ショート、発火の原因になります。

■次のような場所での使用や行為はしないでください



◆本製品のフィルター本体内にヒーターなどの保温器具は絶対に入れない。
◆電源は交流100V（家庭用電源）以外では使用しない。
◆屋外での使用はしない。
◆直射日光の当たる場所、湯気や油煙の当たるところ、ほこりや湿気の多いところでは使用しない。
◆子供には操作・セットさせない。操作させる時は大人の監視のもとで行う。
◇やけど、感電、発火の原因になります。

◆分解、改造をしない。
◇火災、感電、異常動作の原因になります。

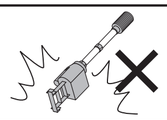
⚠ 注意（ちゅうい）（必ず以下の注意事項をお読みになってからご使用ください）

■差し込みプラグ・コンセント・電源コードについて

◆差し込みプラグを抜く時は電源コードを持たずに差し込みプラグ部分を持って引き抜く。
◇感電、ショート、発煙、発火の原因になります。

◆電源コードを引っ張らない。
◇破損、発火の原因になります。

■本体・ポンプについて



◆製品を落したり、強い衝撃を与えない。
◆製品の上には物を置いたり、かぶせない。
◇変形、破損の原因になります。

■本体・ポンプについて

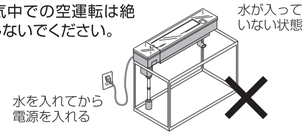
◆ポンプは水中専用のため、空気中で動作させない。
◇破損、発火の原因になります。
◆水槽の水位がポンプの最低水位線以上で運転していることを確認する。
◇故障、破損の原因になります。
◆エアーポンプによるエアレーションを行う時はストレーナーより離す。
◇エアレーションの気泡を吸い込むと水が上がらなくなります。

■次のことをご確認ください。

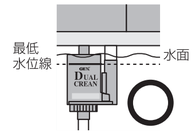
初期のセット時や餌を与える時など、少なくとも1日1回は、デュアルクリーン600SPが正常に動いているかチェックしてください。

ご使用いただく時のご注意点

●破損の原因となりますので空気中での空運転は絶対にしないでください。



●水槽の水位が必ず最低水位線以上になっている状態で運転してください。



●ストレーナーは必ず付けてご使用ください。付けずに使用されますと砂やゴミなどを吸い込み故障の原因になります。

●飼育魚が本製品にあたりストレーナーが外れたり、ポンプがずれる事がありますので、ご注意ください。ろ過槽から送水パイプがはずれ、水漏れの原因となります。
●本製品を直射日光が当たる所に設置しないでください。温度上昇や水質を悪くしたり、苔が発生しやすくなる原因となります。
●インペラー部などにゴミが溜まって、ポンプのインペラーユニットが回転しにくくなった時、「インペラーロック（強制停止）」が起こります。直ちにプラグを抜いて運転を止めてからインペラー部の掃除をしてください。
●本製品は確実に水槽にセットしてください。水槽からずれて取りつけると水漏れ（伝い漏れ）の原因になります。
●細かい砂を使用した場合、ストレーナースポンジから砂を吸い込み、インペラーロックを起こす危険性があるためご注意ください。
●本製品に取り付けられている「警告」「注意」などのラベルは、剥がさないでください。
●破棄される時は、拾われて再使用されないようにして棄ててください。
●本製品を譲渡される場合は、必ず本取扱説明書をつけてください。

電源を入れたまま、水が流れない状態や、インペラーユニットの動かない状態で長時間放置しますと故障の原因となります。十分ご注意ください。

日常の管理

❶ お手入れや掃除、部品交換のときは必ず電源を切ってから行ってください。

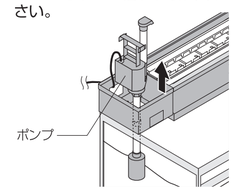
❷ 本製品を掃除する際、シンナー、ベンジンまたはアルコール及び有機溶剤を含むガラスクリーナーなどは使用しないでください。表面が溶けたり、変質、変形する恐れがあります。汚れをとる場合は、ぬるま湯を浸した布を固く絞ってふき取ってください。

❸ ろ過槽を載せた水槽の残りの開口面には必ずふたをしてください。水の蒸発や水滴の飛散を防ぎ、水槽周辺の電気器具の水濡れの防止にも有効です。

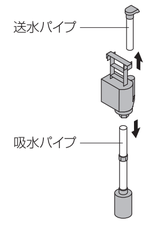
❹ ポンプは1年間で他の家電製品の約10年間相当分の働きをしますので、ポンプは早めに交換する事をおすすめします。交換時は「デュアルクリーン交換用ポンプ」とご指定ください。

●インペラーユニット（ポンプ本体内）の掃除

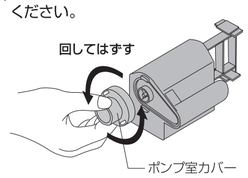
1）コンセントから差し込みプラグを抜いて、ポンプをポンプ槽より取り出してください。



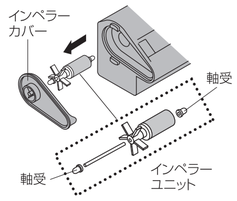
2）吸水パイプ、送水パイプをポンプより取り外してください。



3）ポンプ室カバーをポンプよりはずしてください。



4）インペラーカバーをはずし、インペラーユニットを取り出します。

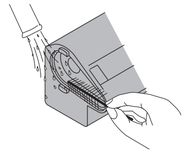


軸受がはずれた場合は、なくさないでください。また、片方の軸受がポンプ内部に入ったままの場合もありますのでご注意ください。

5）インペラーユニットに付着した水アカ、ゴミを図のように洗い流してください。インペラーカバー、ポンプ室カバーも洗ってください。

インペラーユニットは、大変細かい部品で構成されていますので、ご注意ください。

6）ポンプの下部、内部もブラシなどで洗浄してください。

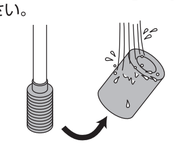


7）掃除が完了したら組み立て間違いに注意して今の順番の逆に組み立ててください。

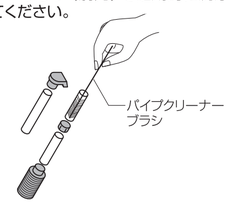
●ストレーナースポンジ・パイプ類の掃除

1）ストレーナースポンジは目詰まり防止のため、定期的に取り外して水洗いしてください。

※水洗いしてもすぐに水流が少なくなる場合は、新しいストレーナースポンジに交換してください。交換時は「ストレーナースポンジGD」とご指定ください。



2）ストレーナー、吸水パイプ、送水パイプ、送水口、パイプジョイントはパイプクリーナーブラシ（別売）で定期的に洗浄してください。



お願い ※長期間お使いいただいていますと、ポンプのインペラー部にゴミや水アカ、水草などがたまり、インペラーユニットが回転しにくくなりインペラーロック（強制停止）が起こり、水が循環しなくなりますので、月に一度はこの項目に従って点検・清掃してください。

■本製品は、観賞魚飼育を目的として作られています。他の目的でのご使用は、絶対に避けてください。
■製品使用前に説明書をお読みになり、充分理解した上でご使用ください。ご不明な点は、販売店または当社へご照会ください。誤った使用法、勝手な修繕・改造などによる故障などにつきましては補償いたしかねます。
■製品の製造管理には、万全を期していますが、万一、当社の製造管理上の原因による品質不良がありました場合は、同等の新しい製品とお取り換えさせていただきます。それ以外の責任はご容赦ください。
■製品改良のため、仕様・デザインなど、断わりなく変更することがありますので、ご了承ください。

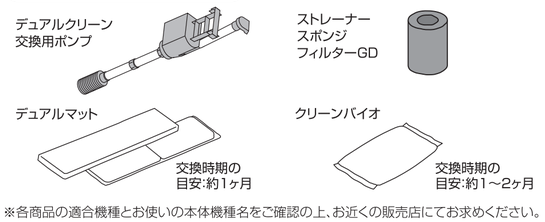
仕　様

品　　名	デュアルクリーン600SP
用　　途	観賞魚飼育屋内水槽専用（幅60cm水槽用）
定格電圧/周波数	AC100V　50/60Hz
定格消費電力	4/5W
流　　量	約6.7ℓ/分（50Hz）　約8ℓ/分（60Hz）
最大揚程	約47cm（50Hz）　約63cm（60Hz）

1ヶ月の電気代

連続使用した場合（1kWh＝25円の場合）
50Hz：約72円　60Hz：約90円

交換用商品のご案内



※各商品の適合機種とお使いの本体機種名をご確認の上、お近くの販売店にてお求めください。

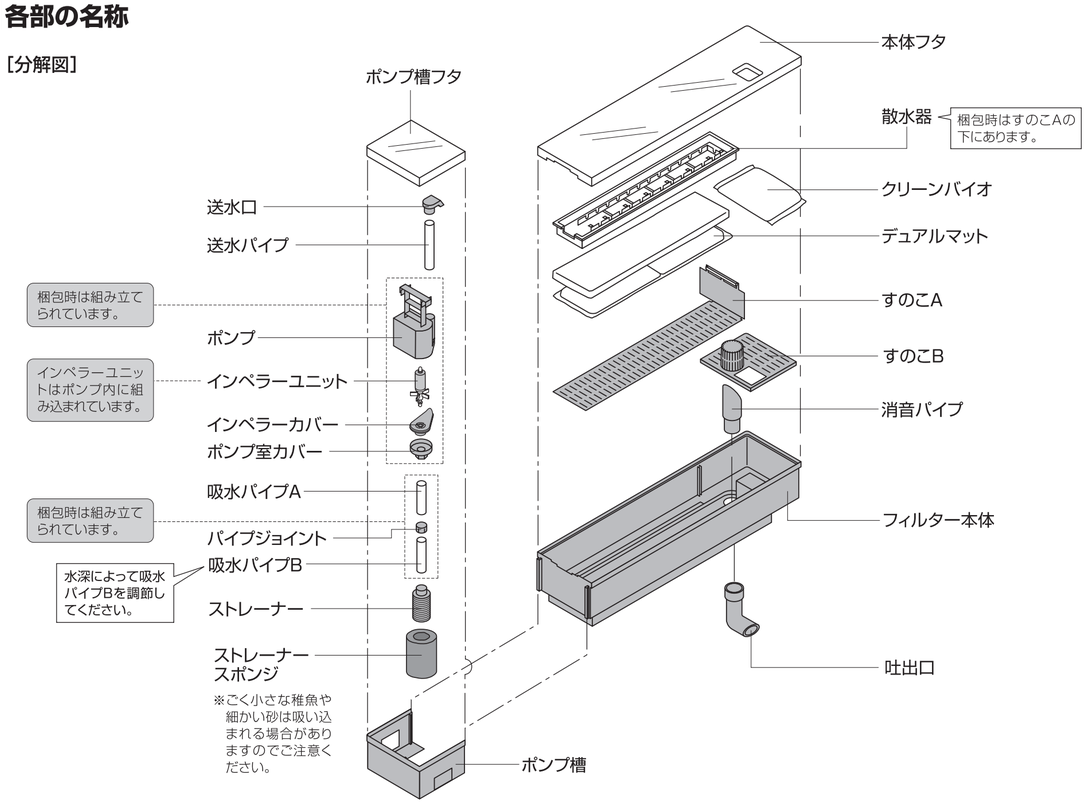
外国産の熱帯魚などを放流すると、日本の生態系を崩します。最後まで、愛情を持って飼育しましょう。

☎ 072-966-0054
「ジェックスサービスセンター」

GEX このやさしさを人と社会へ
ジェックス株式会社
GEX URL http://www.gex-fp.co.jp/
〒578-0903 大阪府東大阪市今米1丁目14番15号

各部の名称

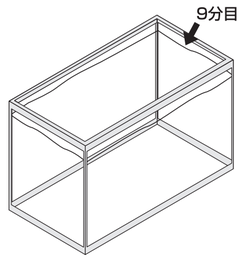
［分解図］



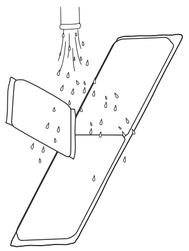
ご使用方法

上記の「各部の名称」を参照しながら組み立ててください。

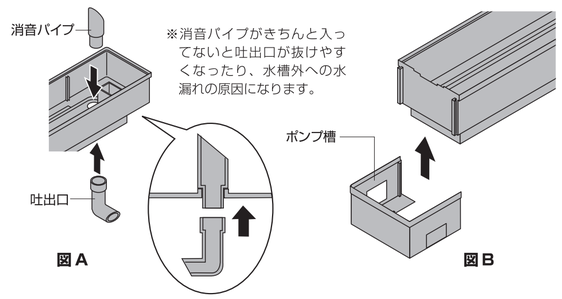
1 水平な所へ水槽を設置し、水を９分目まで入れます。



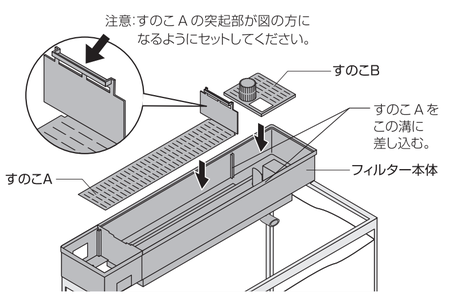
2 組立前に各部品を軽く水洗いし、デュアルマット・クリーンバイオも軽くすすぎます。



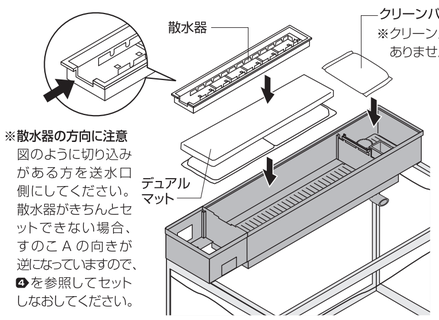
3 消音パイプをフィルター本体の右側にある丸い穴に差し、吐出口を下からきちんと差し込んでください（**図Ａ**）。そして、フィルター本体の左側にポンプ槽を差し込んでセットしてください（**図Ｂ**）。



4 すのこＡを下図のように突起部の向きに注意してフィルター本体の溝に合わせてセットし、すのこＢを本体の右側に置いてセットします。

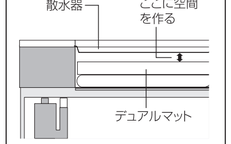


5 デュアルマットを置き、散水器を方向に注意（下図参照）してセットします。すのこＢの上にクリーンバイオを置いてセットしてください。



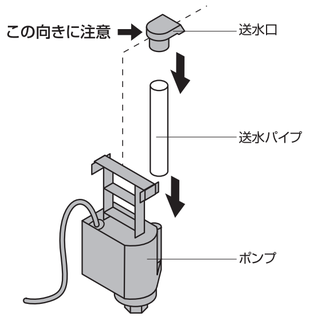
※散水器の方向に注意
図のように切り込みがある方を送水口側にしてください。散水器がきちんとセットできない場合、すのこＡの向きが逆になっていますので、❹を参照してセットしなおしてください。

注 意



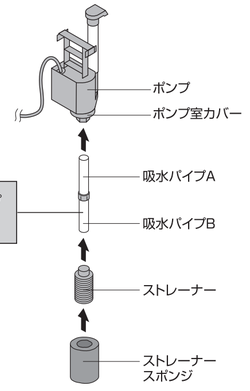
※散水器とデュアルマットの間に空間をあけてください。

6 ポンプ上側に送水パイプと送水口を差し込んでください。送水口の口側は図のようにポンプの取っ手に対して反対向きになるように差し込んでください。

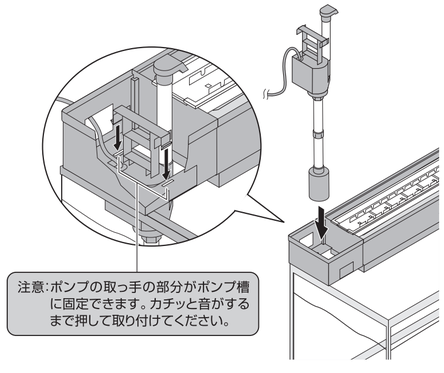


7 吸水パイプＢにストレーナーを差し、次に吸水パイプＡをポンプ下部のポンプ室カバーに差し込んでください。ストレーナースポンジをストレーナーにかぶせてセットしてください。

水深によって吸水パイプＢを調節してください。

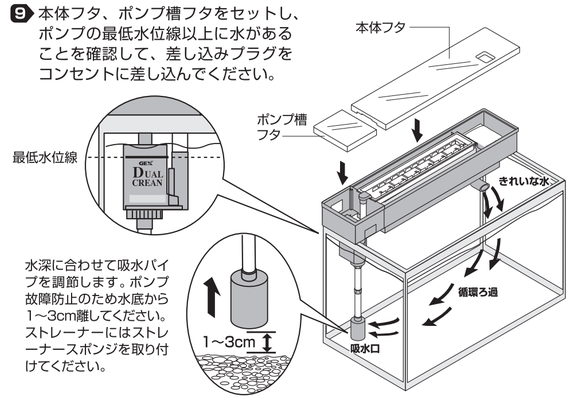


8 組み立てたポンプ部をポンプ槽の所定の位置に取り付けてください。



注意:ポンプの取っ手の部分がポンプ槽に固定できます。カチッと音がするまで押して取り付けてください。

9 本体フタ、ポンプ槽フタをセットし、ポンプの最低水位線以上に水があることを確認して、差し込みプラグをコンセントに差し込んでください。



水深に合わせて吸水パイプを調節します。ポンプ故障防止のため水底から1～3cm離してください。ストレーナーにはストレーナースポンジを取り付けてください。

故障かなと思った時は

症　状	原　因	対　処　方　法
ポンプが動かない。	電源コードが抜けていませんか?	差し込みプラグをコンセントに確実に差し込む。
	インペラー部やポンプ室カバーにゴミが詰まっていませんか?	電源を切り、ポンプ室カバーを開けインペラーユニットを取り出して掃除する。[日常の管理:インペラーユニットの掃除参照]
	掃除をした時、ポンプ部の外側だけを掃除していませんか?	
	インペラー部分を掃除した際、きちんと組立てていますか?	インペラー部をきちんと元通りにセットする。[日常の管理:インペラーユニットの掃除参照]
	ポンプ内のマグネットが中立の位置にある可能性があります。	何度か電源のON、OFFをくりかえすか、ポンプ部に軽くショックを与えてください。マグネットが中立の位置からずれ、ポンプは動きだします。 長期間放置しますと故障の原因になります。充分ご注意ください。
	ポンプの寿命がきているかもしれません。	約1年～1年半でポンプの交換をおすすめします。
	細かい砂を使用されていませんか?	ストレーナースポンジから砂を吸い込む恐れがあります。吸い込まない位置（上方）まで離すか、粒の大きな砂に変える。[ご使用方法❸参照]
水が流れない。 水流が弱い。 異常音がする。 ポンプは動いてるが水が上がらない。	水槽の水位がポンプの最低水位線以下になっていませんか?	最低水位線より上に水を入れる。[ご使用いただく時のご注意点参照]
	ポンプを空気中で空運転させていませんか?	
	送水パイプはきちんとセットされていますか?	きちんとセットする。[ご使用方法❻参照]
	ストレーナースポンジが目詰まりしたり、ストレーナーにゴミが詰まったり、していませんか?	ストレーナースポンジを定期的に取り外し、水洗いする。ストレーナーのゴミも定期的に取り除く。[日常の管理:ストレーナースポンジの掃除参照]
	インペラーユニットやポンプ室カバーにゴミが詰まっていませんか?	電源を切り、ポンプ室カバーを開けインペラーユニットを取り出して掃除する。[日常の管理:インペラーユニットの掃除参照]
	ポンプのインペラーユニットが、正しくセットされていますか?	電源を切り、ポンプ室カバーを開けインペラーユニットを確認する。[日常の管理:インペラーユニットの掃除参照]
	エアーポンプを使用し、気泡が吸い込まれていませんか?	エアレーション（水槽内に酸素を供給すること）を行っている時、エアーストンをストレーナースポンジから離してください。

症　状	原　因	対　処　方　法
水が流れない。 水流が弱い。 異常音がする。 ポンプは動いてるが水が上がらない。	フィルター本体とポンプ槽とがきちんとセットされていますか?	フィルター本体の溝にポンプ槽をきちんとセットする。[ご使用方法❸参照]
	フィルター本体がガラスフタの上に乗っていませんか?	ガラスフタをはずし、きちんとセットする。
	散水器がフィルター本体へきちんとセットされていますか?	散水器の切り込みのある方を送水口側にセットし、反対側をすのこにのせる。[ご使用方法❺参照]
	散水器とデュアルマットとの間に空間はあいていますか?	散水器とデュアルマットとの間に空間をあける。[ご使用方法❺参照]
水がフィルターからあふれる。いっぱいになる。	ろ過材が目詰まりしていませんか?	ろ過材を定期的に洗う、または、交換する。
	すのこのセット方法を間違えていませんか?きちんとセットされていますか?	すのこの方向に注意し、フィルター本体の底面にきちんとセットする。[ご使用方法❹参照]
水がきれいにならない。	ポンプは正常に動いていますか?	差し込みプラグをコンセントに確実に差し込む。
	セット時に砂利をよく洗いましたか?	セット前ににごりが取れるまでよく洗ってから使用する。
	魚に餌を多く与えすぎていませんか?	1日、1～2回、数分で食べる量にする。食べ残した餌は、ネットなどで取り除く。
	フィルター本体にろ過材がきちんとセットされていますか?	きちんとセットする。[ご使用方法❺参照]
	苔、アオコが発生していませんか?	苔を綺麗に掃除する。直射日光が当たらない場所に水槽を移動させ、残餌や魚の糞をこまめに掃除する。
	水が白く濁っていませんか?	水が白く濁るのは、フィルター本体やろ過材の不具合ではなく、水替え時や、ろ過材を交換した時や、ろ過バクテリアが極端に減少してしまった場合に起る白ニゴリという現象が発生しているからです。環境によって異なりますが、餌の量を減らし、本製品を3日～10日ほど作動させれば水はきれいになります。

症　状	対　処　方　法
フィルター本体に溜まる水位（水量）が変わった。吐出口から エアーが出ない。	空気を吐出する機能はついておりません。ろ過材の種類や、使用期間によりフィルター本体に溜まる水位（水量）が変化し、空気が吐出される場合とそうでない場合が発生します。この時、空気を巻き込みながら水がフィルター本体から水槽内へ流れる場合に空気が吐出されます。フィルター本体内部で空気が巻き込まれますので、吐出口からエアーが出ていても、出ていなくても飼育水内の溶存酸素に大きな差はありません。

※この項にしたがって点検されても異常が解消しない場合,または、この項以外に異常があるときは、販売店または当社にご相談ください。